

# いわちゃん ポスト

千葉県議会議員

# 岩井 やすのり



事務所連絡先 〒270-1515 印旛郡栄町安食台 2-26-23-202  
TEL0476-36-7799 fax0476-36-7802

HP <http://www.iwai-y.jp> mail [mail@iwai-y.jp](mailto:mail@iwai-y.jp)

## 小林駅南口ロータリー

### 移転問題で完成見通し立たず



昨年4月より南口自由通路が供用開始となったJR小林駅。用地取得が進まない駅前ロータリー（駅前広場）については、依然として完成の見通しが見えない一方、県は市の要望を受け、年度内に駅周辺道路（県道バイパス）の一部を開通させることとしています。

●バス・タクシー乗り場など2300㎡の駅前広場  
25年度に着手となったJR小林駅南口の整備事業は、駅利用者の安全性を確保し、交通利便性の向上を図るとして、バス・タクシー乗り場などを備えた2千3百平米の駅前広場を設けるというものです。



橋上駅舎や北口エスカレーターは27年の供用開始とほぼ計画通りでしたが、県道（旧道）をまたぐ南口自由通路（エスカレーター、エレベーター等）は29年4月と約2年遅れ。さらに南口ロータリーは未だ完成の見通しが立っておらず、「工事はどうなっているのか？」と地元住民から疑問の声が上がります。



### 「移転されては困る」医療機関 調整が難航

駅前広場の整備が進まないのは、既存施設の移転調整がつかず、事業主である市が用地を取得できていないからです。

駅前ロータリーの整備予定地にそもそもあった2つの建物のうち、「ショッピングセンター・ジョブピア」は29年に閉店しているところですが、もう一方のテナントの借主である医療機関はその移転先が見つかっておらず、同地にて診療を続けています。医療機関ゆえ公共性が高い上に「移転されては困る」との声が強く、まして強制立ち退きを迫るようなケースでもありません。市としては相手方に定期的、継続的に働きかけを行っているとしつつ、その適切な移転先が見つかるまで調整を続けるしか手立てがないと言います。

## 私も読んでいます 「いわちゃんポスト」

地域や県政の課題について取り上げるいわちゃんポスト、日頃から読ませてもらっています。

地元栄町から選出の岩井県議は、ともに地域発展のために汗を流す立場。安食交差点改良や長門川の河川改修、県道鎌ヶ谷本埜線バイパス事業の促進など、お互いが車の両輪となって働きかけてきたものです。いわちゃんポストのバックナンバーを振り返って読むと、ああこんなことも一緒にやったなあ感慨深いところがあります。

岩井県議は、栄町はもちろん、本埜、印旛



栄町長 岡田 正市

地区をはじめとする印西市を含めた北総地域の課題解決にはなくてはならない存在です。日頃から地道な活動をする岩井県議を心から応援するとともに、さらなる活躍をご期待いたします。

●駅前バイパス 年度内開通見込み  
ところで、地元住民の方からは「最近、工事が始まりましたよね？」との声が聞かれるようになっていきます。確かに、小林駅南口では重機を用いた作業の様子が

この問題について「いわちゃんポスト90号」でお伝えしてから一年半以上経ちますが、以来何らの進展がなく、駅前広場の完成時期は見当がつかない状況が続きます。  
見受けられるところですが、確認したところ、これは小林駅南口から南西方向に進める470mの県道印旛線バイパス事業のうち、先行開通を図る170m区間の工事であるとのこと。本来は、南口駅前広場の完成と同時に開通させるところ、当分の間の完成が見込めないことから、印西市が県に先行着工を要望したものです。なお、同駅前バイパスの170m区間は今年度内に開通の見通しとなっています。



# 障害者向け音訳 ボランティア団体の指定要件を大幅緩和

視覚障害者向けに書籍の音声録音を行う音訳ボランティア。この1月から「文化庁長官による指定」の手続きが簡素化され、著作権法上の問題なく、著作物の音訳、複製ができるようになりました。

## ●ボランティアでも許諾ない音訳は著作権法違反

地元で朗読奉仕というボランティアをされる方から相談があったのは昨年10月のことです。

同氏は、視覚障害者や老人福祉施設入所者向けに書籍等の音訳、複製を無償で行うボランティア団体の一員です。ある時、内部からの指摘により調べたところ、ボランティアといえども許諾ない音訳は著作権法違反であることが判明。以来、「著者の死後50年以上が経過した作品」等の一部書籍しか取り扱えない状況にあり、何か利用者の要望に応える手立てがないかというものでした。

## ●著作権者からの許諾 ボランティアに高いハードル

著作権法上、点字図書館や図書館、養護老人ホーム等の施設が、貸出しや自動公衆送信（音訳データのネット上からのダウンロード）を目的とした音訳が認められる一方、図書館に参与していない地域ボランティアや大学の障害学生支援室等は、音訳に取り組む前に著作権者から許諾を得なければならないこととなっています。しかし、著作権者の連絡先がわからなかったり、複数から許諾を得なければ

ならなかったりとハードルが高く、とても一般ボランティア団体が行えるものではないのです。

## ●サイトへの登録のみで音訳が可能に

相談を受け、県や町の担当課、著作権情報センターなど複数に打診してきた中、朗報があったのは文化庁からでした。

これまでも視覚障害者等のための音訳を行う者として、図書館等とともに「文化庁長官に指定された者」も認められてきましたが、技術的能力等に関する要件や複雑な手続きがあり、やはり一般ボランティアにはハードルが高いもの。そこで、新たに視覚障害者等のために音訳を提供する法人（ボランティア団体含む）を典型的に規定し、文化庁による個別指定なしに行えるよう制度改正するというのです。

具体的には、音訳を提供する視覚障害者等の名簿の作成、団体代表者連絡先の公表等の要件を満たせば、指定されたウェブサイトへの登録、掲載のみで音訳事業を行えるようになるというものです。視覚障害者等のための音訳を行う技術や経理的基礎があることを前提としながらも、これまでの複雑な手続きが不要になるというわけです。

すでに意見を募るパブリックコメントが行われ、この1月より制度改正されることとなったのです。相談いただいた方にこの旨をご報告すると大変喜ばれ、ぜひ検討してみたいとのことでした。

視覚障害者が入手できる音訳図書の数に限られており、視覚障害児に必要な学習教材さえ手に入りづらい現状があるといえます。日頃からボランティアで音訳活動をされている方々へ深く感謝するとともに、自らもこれらの環境改善のため働きかけてまいります。



## 音訳に関する制度改正の流れ

～H21年	点字図書館等の限られた施設で貸し出す場合のみ、著作権者の許諾なく音訳が可能。
H21年～	点字図書館に加え、図書館(学校、国会図書館等含む)、養護老人ホーム等による、貸し出しや自動公衆送信を目的とした音訳が可能になった。
H31年1月～	「文化庁長官による団体指定」の手続きが簡素化され、一般ボランティア団体による音訳が容易に。

# 成田イオン前渋滞対策 年度内に右折車線延長へ

週末を中心として、国道408号から商業施設への右折車両が数珠つなぎ状態になってしまう「成田イオン前渋滞」。岩井は9月県議会一般質問にてこの問題を取り上げ、年度内に関係する2つの交差点の右折レーンの延長が行われることとなりました。



HUMAX シネマズ前の交差点（成田市ウイング土屋）

## 北千葉道路開通でイオン前渋滞深刻化の懸念

成田市にある成田イオンモール前の空港通り（国道408号）は、市内でも有数の交通量。成田イオンや周辺に立ち並ぶ家電量販店等の利用客に加え、成田空港やその関係企業に通う通勤者、空港利用客などの車両でごった返しています。

結果、成田イオン前は、週末や朝夕の通勤時間帯を中心に渋滞が慢性化。特に栄町方面へと



向かう上り車線については、成田イオンモールやその他商業施設へと向かう右折車両が右折レーンに収まりきらず、直進車両の大きな妨げとなっているのです。

来春には、北千葉道路が土屋交差点近くの成田市押畑地先まで開通の予定となっており、成田イオン渋滞のさらなる深刻化が懸念される。栄町にとっても成田空港への定時性が確保されなくなれば、定住・移住施策や観光振興施策の妨げともなる大きな問題なのです。

## 国際文化会館前交差点 右折車線倍の105mに

9月県議会にて取り上げ、成田イオン前の早急な渋滞対策を求める岩井に対し、県は年度内

に事業着手すると回答。具体的には成田 HUMAX シネマズ（映画館）前の交差点につ

いて、現在50mとなっている右折レーンを75mに、成田国際文化会館前交差点については、現在50mとなっている右折レーンを105mにまで延長し、渋滞緩和を図るというものです。県担当課によれば年内にも工事発注を行い、今年度内（H31年3月まで）には改良工事が完成する見込みであるとのこと。

今回、右折レーンが延長されることとなったとはいえ、北千葉道路開通による交通量増も予想されることから未だ予断を許さない状況。2つの交差点の信号サイクルの見直しも併せ、引き続き注視してまいります。

## 千葉県議会議員

### 岩井やすのりプロフィール

1970年生まれ 49歳 2期目現職（無所属）  
早稲田大学大学院 政治学研究科修了

全盲の視覚障害者を両親に持ち、障害者の困窮する生活ぶりを多く目の当たりにしてきた事が、政治を目指すきっかけに。妻とともに2人の子どもを育てる子育て世代です。

